表４　各調査地点における内分泌攪乱化学物質水質調査結果

（単位：μg/ℓ）

No	調査物質	日光川 日光橋 H15.9.1	日光川 日光橋 H16.1.13	新川 萱津橋 H15.9.1	境川 新境橋 H15.9.11	巴川 細川頭首工 H15.9.8	乙川 占部用水取入口 H15.8.28	佐奈川 柳橋 H15.8.27	汐川 船倉橋 H15.9.2	伊勢湾 (N-7) H15.8.9	衣浦湾 (K-5) H15.8.21	渥美湾 (A-7) H15.9.4	最高検出濃度	検出下限値	全国調査の検出範囲（注） 平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度
1	**DDE**																		
	o,p'-DDE	N.D.		N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.				―	0.025	< 0.05				
	p,p'-DDE	N.D.		N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.				―	0.025	< 0.05				
	DDD																		
	o,p'-DDD	N.D.		N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.				―	0.025	< 0.05				
	p,p'-DDD	N.D.		N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.				―	0.025	< 0.05				
2	**エンドスルファン（ベンゾエピン）**																		
	α－エンドスルファン	N.D.		N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.				―	0.025	< 0.05				
	β－エンドスルファン	N.D.		N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.				―	0.025	< 0.05				
	サルファーエンドスルファン	N.D.		N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.				―	0.025	< 0.05～0.06				
3	**メソミル**	N.D.		N.D.	0.04	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.				0.04	0.03	< 0.05～0.65				
4	**アルキルフェノール類**																		
	4-n-ペンチルフェノール									N.D.	N.D.	0.01	0.01	0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01～0.01	
	4-n-ヘキシルフェノール	N.D.		N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.				―	0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	
	4-n-オクチルフェノール	N.D.		N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	―	0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01～0.01	< 0.01	
	4-t-オクチルフェノール	N.D.		N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	―	0.01	< 0.01～13	< 0.01～0.61	< 0.01～0.72	< 0.01～0.85	< 0.01～0.92
	ノニルフェノール	0.1	0.8	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.8	0.1	< 0.05～21	< 0.1～4.6	< 0.1～7.1	< 0.1～5.9	< 0.1～8.4
5	**フタル酸ジ-2-エチルヘキシル**	N.D.		N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.				―	0.3	< 0.3～9.9	< 0.3～6.6	< 0.3～6.9	< 0.3～5.3	< 0.5～4.6
6	**フタル酸ジ-n-ブチル**									N.D.	N.D.	N.D.	―	0.3	< 0.3～2.3	< 0.3～1.1	< 0.3～0.9	< 0.3～16	< 0.2～0.2
7	**ベンゾ（a）ピレン**	N.D.		N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	―	0.01	< 0.01～0.02	< 0.01	< 0.01～0.07	< 0.01	< 0.01
8	**アジピン酸ジ-2-エチルヘキシル**									N.D.	N.D.	N.D.	―	0.01	< 0.01～1.8	< 0.01～0.05	< 0.01～0.03	<0.01～0.19	< 0.01～0.03

（注）県の調査結果に加え、国の調査結果を示した。

参考　「N.D.」は検出下限値未満を、「－」は今回の調査では検出されなかった項目を、斜線は調査対象外であることを示す。
単位：μg（マイクログラム）は、100万分の１ｇ（グラム）

表５　各調査地点における内分泌攪乱化学物質底質調査結果

（単位：μg/kg）

No	調査物質	日光川 日光橋 H15.9.1	日光川 日光橋 H16.1.13	新川 萱津橋 H15.9.1	境川 新境橋 H15.9.11	乙川 占部用水取入口 H15.8.28	佐奈川 柳橋 H15.8.27	汐川 船倉橋 H15.9.2	衣浦湾 (K-5) H15.8.21	渥美湾 (A-7) H15.9.4	最高検出濃度	検出下限値	全国の調査結果（注） 平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度
1	**DDE**																
	o,p'-DDE	N.D.									―	5	< 5				
	p,p'-DDE	N.D.									―	5	< 5				
	DDD																
	o,p'-DDD	N.D.									―	5	< 5				
	p,p'-DDD	N.D.									―	5	< 5				
2	**アルキルフェノール類**																
	4-n-ペンチルフェノール									N.D.	―	1	< 5	< 1.5	< 1.5	< 1.5	
	4-n-オクチルフェノール	N.D.			N.D.		N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	―	1	< 5	< 1.5	< 1.5	< 1.5	
	4-t-オクチルフェノール	94		0.9							94	0.3	< 5～45	<1.5～170	<1.5～160	<1.5～46	<1～93
	ノニルフェノール	830	100	37	N.D.	4	46				830	3	< 50～4900	<15～12000	<15～5600	<15～3700	13～7500
3	**フタル酸ジ-2-エチルヘキシル**	45			N.D.		220	45			220	25	<25～210000	<25～22000	<25～6100	<25～4300	<25～10000

（注）県の調査結果に加え、国の調査結果を示した。

参考　「N.D.」は検出下限値未満を、「－」は今回の調査では検出されなかった項目を、斜線は調査対象外であることを示す。
単位：μg（マイクログラム）は、100万分の１ｇ（グラム）

表６　各調査地点における内分泌攪乱化学物質水生生物（魚類）調査結果

（単位：μg/kg）

No	調査物質	日光川 日光橋 H15.9.1 フナ	境川 新境橋 H15.9.11 コイ	佐奈川 柳橋 H15.8.27 フナ	汐川 船倉橋 H15.9.2 フナ	衣浦湾 (K-5) H15.8.21 ボラ	渥美湾 (A-7) H15.9.4 ボラ	最高検出濃度	検出下限値	全国の調査結果（注） 平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度
1	**フタル酸ジ-2-エチルヘキシル**	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.			―	25	< 25～190				
2	**フタル酸ジ-n-ブチル**						N.D.	―	25	< 25				
3	**ベンゾ（a）ピレン**		N.D.		N.D.	N.D.		―	1	< 2				
4	**アジピン酸ジ-2-エチルヘキシル**						N.D.	―	10	< 10～14				

（注）県の調査結果に加え、国の調査結果を示した。

参考　「N.D.」は検出下限値未満を、「－」は今回の調査では検出されなかった項目を、斜線は調査対象外であることを示す。
単位：μg（マイクログラム）は、100万分の１ｇ（グラム）